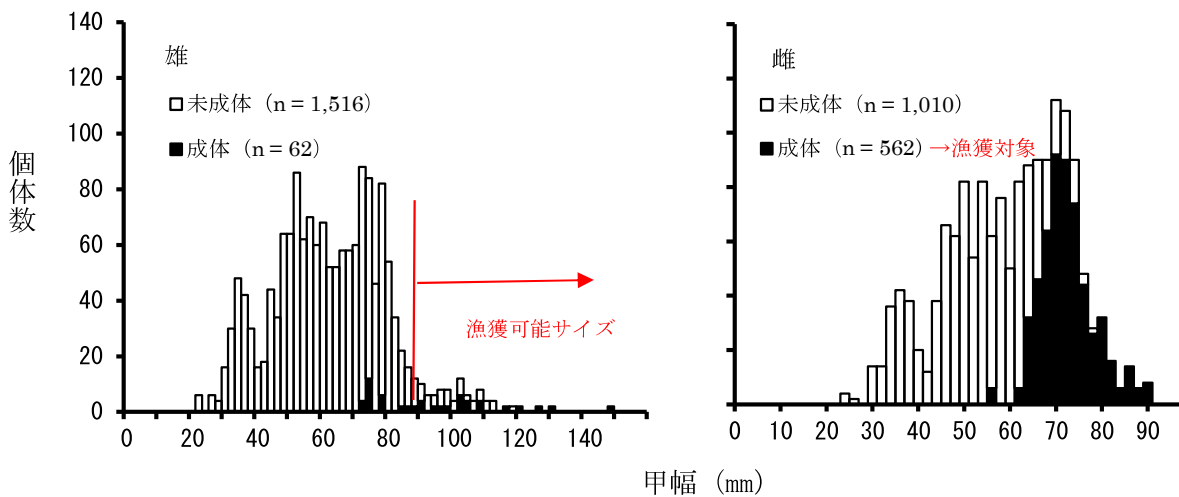


けた 桁びき網によるズワイガニ資源調査

当センターでは、京都府の底びき網漁業で重要なズワイガニの資源状況を把握するため、毎年5月に海洋調査船「平安丸」でけた桁びき網^{けた}※を使った調査をしています。今年は、16～19日に京都府沖合の水深225～255mの海域で8回操業し、雄1,578尾、雌1,572尾のズワイガニが採集されました。雄では、甲幅90mm以上が漁獲対象となりますが、今回の調査では、甲幅50～80mmの個体が多く採集されました。雌では、腹部に卵を抱えた成体が過去4年間で最も多く採集されました。これらの結果から、雄では1～2年後、雌では今年の漁期の漁獲増加が期待されます。

今後も継続して調査を行い、京都府沖合におけるズワイガニの資源状況の把握に努めます。

※ けた桁びき網:鉄枠に漁網を取り付けて海底付近を曳くことで生物を採集する漁具



ズワイガニの甲幅組成